



あくね 真一 4 議会便り

◎発行責任者：
御殿場市議会議員 阿久根 真一
◎連絡先：
全矢崎労働組合富士支部内
御殿場市保土沢652



Tel : 0550-88-0083 Fax : 0550-88-1080

毎年7月1日には新橋浅間神社において「富士山開山式」が執り行われます。この時に祭られるのが「大わらじ」です。富士山信仰の拠点であった御殿場は箱根越えの旅人の足となるわらじの産地であったことから、毎年開山の行事としてわらじを奉納し健康祈願、五穀豊穡、交通安全を祈念してきました。開山期間中は御殿場駅構内に展示され8月末の閉山後に供養されます。大勢で約20日間かけて制作される3mの大わらじは実に圧巻ですので是非一度現物を見て頂ければと思います。



会派「改新」の活動報告・・・第1回、2回 議会報告会の概要

会派改新として初の議会報告会を開催！

これまで新型コロナウイルス感染症予防として様々な行事やイベント・会合が自粛あるいは中止されてきましたが、国の方針により2類から5類へ緩和されたことを受けR2年の改選後会派として初めての議会報告会を開催致しました。

○第1回報告会 5月17日（保土沢公民館）

○第2回報告会 6月16日（森之腰公民館）

何分初めてということもあり、どの程度の規模で開催したら良いのか？会派の中で協議し、まずは地域・各後援会役員の方を中心としてご案内し、お集まり頂きました。また、私たち会派メンバーは偶然にも原里地区出身の議員で構成されていることより、今回は地元の事案中心の報告を行いました。

<主な報告事項>

- ・原里市民の森進捗状況
- ・教育支援センター概要（原里西幼稚園跡地）
- ・夏刈南部他工業団地開発状況
- ・神場地先の盛り土への対応状況
- ・御殿場駅前交差点暫定整備計画
- ・新橋一御東原線整備計画 など

<参加者からの主な質問・意見・要望>

Q：小山町の工業団地開発が優先され夏刈南部工業団地開発が遅れた経緯がある。優良な土地だけに有効に使ってほしい。

A：潤沢な富士山の地下水も使えるということと出来るだけ優良な企業を誘致できるよう進めていきたい。

Q：湯沢平の旧塵芥焼却施設跡地について今後の利用計画はどのようになっているか？

A：現在は広域行政組合の所有地でもあることから当該組織へ新たな提言が出来るよう情報収集、検討していく。

Q：議員定数21に対し現在3名欠員であるが議会運営に支障をきたしていないか？

A：議会としては辛くも運営されているが、本来市民からの意見要望を提言活動に活かすという役割からすると不十分な体制である。

Q：新橋一御東原線の開発計画については地元市民の関心は非常に高く行政側としての事前説明を強く求める。

A：担当部署との情報交換を行い然るべき時期に地元への説明会を開催して頂けるよう要望していく。



みなさんのご意見をお寄せください！

e-mail : shinichi.akune@jp.yazaki.com

R5年 6月定例会のトピックス

OR4年度一般会計補正予算（第8号）

△148,880千円

・ふるさと納税推進事業、基金積立金、緊急支援給付金給付事業等の減額

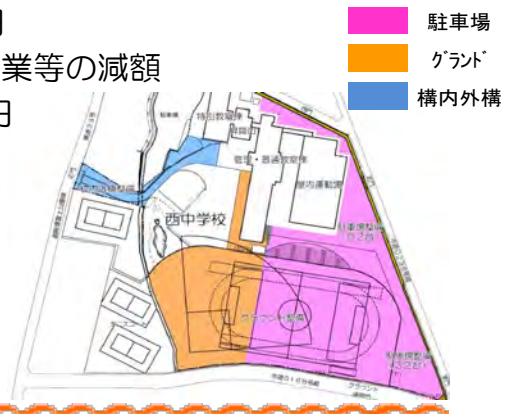
OR5年度一般会計補正予算（第1～3号） 計505,000千円

・新型コロナウイルス予防事業、支援給付金給付事業、
スポーツツーリズム推進事業、デジタル社会推進事業等の増額

○御殿場西中学校外構整備工事の概要

・昨年度に校舎、屋内運動場の改築が完了したため、今年度は
グラウンド、駐車場、構内外構の整備を行う。

完成工期：R6年12月末



■ 駐車場
■ グラウンド
■ 構内外構

一般質問 災害時における要配慮者避難支援と 避難所の拡充・充実について

答弁の詳細はこちらから



YouTube



R3年に災害対策基本法が改訂されたこともあり、防災関係について以下大きく3点質問させて頂きました。

Q1：避難時支援を必要とする人の実態把握

Q2：福祉避難所の受け入れ体制強化・拡充

Q3：指定避難所の機能強化について

市からの答弁概要：

- ・避難時に支援を必要とする人は約2,600人であるが、内6割が要支援者名簿への記載に同意しておらず更なる理解が必要とされる。
- ・避難行動要支援者及び個別避難計画については電子データによるデータベース化を積極的に推進していく。
- ・現在の福祉避難所の最大収容人数は200名程度であり需要に対して不足している。今後の対策として市内の旅館・ホテルと災害協定を結び受け入れ側の供給を大幅に増やすことを検討している。

- ・避難所の開設期間は7日間を基準とし電源確保期間は72時間（3日間）を目指すとして、いることから大容量の自家発電や蓄電設備の必要性は低いと考えている。



静岡県第4次地震被害想定において、自宅の倒壊などで避難所への避難が必要となる市民は最大11,909人（人口の13.6%）と想定されており、それ以外の方は「在宅避難となる」とされています。したがって電気、ガス、水道のライフラインが復旧されるまでの最低3日分の水・食料等は各家庭で備えておく必要があります。いざという時に対し日頃から備えておきましょう。

※一般質問の様子は市のHP
からでもご覧頂けます！

御殿場市議会



御殿場けやきっ子との協賛イベント開催

6月18日(日)矢崎エナジーシステム富士工場を1日お借りし、日頃から活動に携わらせて頂いている子ども食堂の有志（御殿場けやきっ子応援隊）の皆さんと「ふれあい広場」を開催しました。遊びの場では多くの子どもたちの歓声も聞かれ、久々に体育館の中に賑わいがありました。



Shin's
Tweet

市民の皆さんには食と安心をサポートする多くの団体があることをまず知って頂きたいと思います。そしてその支援も要らなくなる社会を目指し今後も活動を続けていきます。



全矢崎労組・北駿地区労福協のみなさん、ご協力ありがとうございました！！